

第1回幹事会レポート

第1回幹事会が、2008年12月20日10:00~12:00、昭和音楽大学北校舎3F会議室で、柳田孝義、下八川共祐、出田敬三、吉田泰輔、仁田悦朗、阿方 俊、生頼俊秀（事務局補佐）の出席で行われました。以下、レポートです。

記

1. 会員状況および前受金の一部返済

会員数は110名。内訳は、正会員=93、学生会員=8、団体会員=5、賛助会員=4（12月19日現在）

* 来年度は第5回という節目の全国大会を迎え、これを期に会員数150名、200名という目標をもって行こうという意見が出されました。

学会発足時に4名の方から会費の前納という形で前受金として入金されているものの中から5万円（10年分の会費）を超える金額を返済することが認められました。

* これは、前納金の一部を返済しても運営上支障を来たさない目処がついたからです。

2. 新幹事体制の確認

代表幹事 柳田孝義

副代表幹事 下八川共祐 出田敬三

事務局長 阿方 俊

幹 事 吉田泰輔 仁田悦朗 野口剛夫 森松慶子 海津幸子 初山正博

* 先回と変わったのは、代表幹事（柳田孝義）、副代表幹事（出田敬三）、新幹事（森松慶子、海津幸子）、第1期の代表幹事（吉田泰輔）は幹事として留まる。その他は前回と変わらず。

3. 規約改正と関連事項

会の発足後4年が経ち、役員に関する規約改正や顧問、査読委員、選挙管理委員、会計監査、編集委員、研究部会のあり方について協議され、今後、規約改正などに関し第5回全国大会総会で諮れるように進めていくことになりました。

4. 第4回全国大会反省

- ・ 参加者：少しずつではあるが、参加者は増加しており、会員数からすると参加率は高い
- ・ 運 営：受付などを含む会全体の運営は洗足学園音楽大学の講師や学生の方々の協力のもとにスムーズに行われた。同時に、コンサート出演者やアルバイト学生に対する食事のケアなどが不十分であった、などの指摘があった
- ・ 内 容：個々にはいろいろな捉え方があるだろうが、パネルディスカッションと研究発表は年々充実しているのが感じられる。基調講演は、毎年、異色の人にお願ひし、研究コンサートは会場大学の特色を活かしたものであり、今回もそれなりの特徴が

あった。また大きな流れとして、ソフト（演奏・教育）とハード（楽器製作）に関する産学協同の流れができつつあるのが実感された

- ・ 問題点：コピー資料の依頼が大会直前に多く重なり、事務局として対処できないものがあり発表者や司会者に迷惑をかけてしまったが、今後は他学会並みに発表者ないしは関係者が準備していく方向で対処したい。またパワーポイントの使用者に対する持参コンピューターと接続コードのチェックが不十分であったためパワーポイント使用者に迷惑がかかった。これらは今後の留意点としたい

5. 第5回全国大会

2009年度の大会は文教大学で次のように行われます。

と き：11月8日（日）

大会準備 11月7日（土）午後

幹事会 11月7日（土）午後

ところ：文教大学越谷キャンパス

- * アクセスは東武伊勢崎線・東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通乗り入れの北越谷駅（上野駅から30分余り）下車、徒歩10分

大会組織委員：小倉隆一郎（委員長）、柳田孝義、阿方 俊、生頼俊秀 + α

行 事：基本的な流れは第4回大会に準じる

あいさつ：文教大学学長（依頼予定）

基調講演：第2回（3月）または第3回（5月）幹事会で決定

パネルディスカッション：研究部会中心に5月にテーマの決定

研究発表：公募し、発表者を5月に決定

コンサート：文教大学の特長を活かした内容のもの（文教大学関係者で決定）

6. 学会誌「電子キーボード音楽研究」第4号論文募集

学会誌の論文執筆者は、第1号＝5名、第2号＝8名、第3号＝8名です。現在、第4号原稿（原稿締め切り期限は3月末日）を募集中。執筆者をご推薦ください。

7. 第2回幹事会日程ほか

第2回幹事会は、3月28日（土）14：00～16：00、昭和音楽大学北校舎3F会議室で開かれます。今までと時間帯が違いますのでご注意ください。

M.L.研究部会から、M.L.分科会を5～6月に昭和音楽大学で開催したい旨の申し入れがありました。

- * 詳細決定次第ホームページなどでお知らせいたします。